

### 指定管理者を公募します

狛江市教育委員会が管理している体育施設は、これまで直営で管理していましたが、平成21年4月1日から指定管理者を導入するため、施設の管理を行う法人等を公募します。

#### ■指定期間

平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間

#### ■体育施設

- ▽狛江市民総合体育館
- ▽西和泉体育館
- ▽元和泉市民テニスコート
- ▽東野川市民テニスコート
- ▽狛江市民テニスコート
- ▽西和泉グラウンド
- ▽狛江市多摩川緑地公園グラウンド

#### 現地見学会

〔日時〕5月20日(火)午前9時  
正午、狛江市民総合体育館集合※応募される場合は、ご参加ください。

- ▽高架下運動広場
- ▽元和泉スリーオンスリーコート
- ▽狛江市民プール
- 選定方法
- 提案型公募(プロポーザル)

### 市議会議長が決まりました

3月27日(木)開催の市議会第1回定例会において、議長の辞職に伴い選挙が行われ、次のとおり決まりました(敬称略)。



議長 白井明(63歳)  
平成3年4月に初当選。5期。この間、第33代議長、議会運営委員会委員長、総務文教常任委員会委員長、予算特別委員会委員長などを歴任されました。

## 市職員の人事異動および退職者

4月1日付けで職員の異動を行いました(カッコ内は前職)。

#### ■部長職

- ▽総務部長 吉野博明(総務部理事(兼)職員課長)▽福祉部長 大久保幸藏(健康福祉部)▽児童青少年部長 森田清秋(教育部長)▽教育部長 穂山伸芳(教育部理事(兼)社会教育課長)▽市民生活部長 小川浩志(総務部情報課長)▽福祉保健部理事(兼)生活支援課長 新井孝夫(健康福祉部社会福祉課長)▽教育部理事(兼)指導室長 小宮山郁子(教育部指導室長)

#### ■課長職

- ▽議会議務局次長 杉山勝行(総務部契約課長)▽企画財政部政策室長 平林浩一(企画財政部企画経営室企画調整担当主幹)▽企画財政部財政課長 水野穂(企画財政部企画経営室長)▽総務部総務課長 山口仁志(総務部情報課主幹(兼)情報システム係長)▽総務部安心安全課長 松本培夫(総務部総務防災課長)▽総務部管財課長 原田輝樹(建設環境部整備課長)▽総務部管財課検査担当主幹 山本正夫(総務部契約課検査担当主幹)▽市民生活部納税課長 松本茂夫(市民部収納課長)

- ▽福祉保健部福祉サービス支援室長 吉田芳彦(健康福祉部社会福祉課主幹(兼)障害福祉係長)▽健康福祉部健康支援課長 曾我久夫(市民部保険年金課長)▽児童青少年部子育て支援課長 高橋善治(企画財政部市民協働課長(兼)協働推進係長)

民協働課長(兼)協働推進係長)▽児童青少年部児童青少年課長 山田満敏(健康福祉部児童福祉課長)▽建設環境部清掃課長 松岡真一(企画財政部企画経営室財政担当主幹)▽建設環境部環境管理課長 柳敏幸(建設環境部管理課長)▽建設環境部都市整備課長 山田稔(建設環境部計画課長)▽建設環境部都市整備課主幹 山口昭二(建設環境部整備課主幹(兼)用地係長)▽建設環境部上下水道課長 山田野理光(建設環境部管理課公共用地整理担当主幹)▽建設環境部上下水道課主幹(兼)上水道庶務係長 斎藤亮一(建設環境部水道課主幹)▽教育部図書館長 佐々木庸一(教育部中央図書館長)▽総務部職員課長 石橋啓一(総務部職員課補佐(兼)労働安全衛生担当(兼)人事研修係長)▽市民生活部市民課長 鈴木修(市民部市民課長補佐(兼)窓口係長)▽市民生活部地域活性化課長(兼)農業委員会事務局長 石森準一(総務部情報課長補佐(兼)文書法規係長)▽福祉保健部介護支援課長 小泉一夫(健康福祉部高

齢福祉課長補佐(兼)高齢福祉係長)▽教育部社会教育課長(兼)体育課長 丸塚正真(教育部中央図書館副主幹(兼)奉仕係長)▽教育部公民館長 山本仁(市民部産業生活課長補佐(兼)農業委員会事務局次長)

また、3月31日付けの退職者は次のとおりです。

#### ■部長職

- ▽本橋昇(総務部長)▽岡崎幸(市民部長(兼)産業生活課長(兼)農業委員会事務局次長)▽山本繁二(議会議務局理事(兼)議会議務局次長)▽城田一義(建設環境部理事(兼)環境改善課長)

#### ■課長職

- ▽村野正夫(企画財政部秘書広聴課長)▽大木正秋(総務部職員課主幹)▽友野信夫(市民部市民課長)▽谷田部高史(健康福祉部高齢福祉課長)▽貝瀬昭夫(健康福祉部健康課長)▽村上義則(建設環境部清掃課長(兼)減量係長)▽加藤博司(建設環境部水道課長)▽寺本民生(教育部体育課長)▽橋本啓一(教育部公民館長)

## 市立小・中学校の校長・副校長人事異動

(カッコ内は前任者)

- 4月1日付けで、校長・副校長に異動がありました。
- ▽第一小学校長 奈良佳津志(熊谷勝仁)▽第五小学校長 尾川光男(藤原孝子)▽第一中学校長 池田信也(佐々木修)
- ▽第三小学校副校長 下島保光(町田千恵美)▽緑野小学校副校長 川崎貴志(植松辰夫)▽第四中学校副校長 跡邊昭枝(石田治樹)



—その171—

#### 虫封じ

幼い子どもが急に激しく泣き出したり、なかなか泣きやまなかったり、時には引きつけを起したりすることもあると、虫が起きたとか、疳(かん)の虫だとかいわれていました。子どものからだに宿る虫が、そのような症状を起すのだと考えられていたのです。その虫のはたらきをおさえ込むのが虫封じです。

「わたしは戦争中に子育てしてて、つれあいは兵隊にとられちゃってるしね、長男は疳が強いというか、大変だったの。年寄りや近所の人などからも聞いて、高田馬場(早稲田)の穴八幡に虫封じに行きました。赤ん坊おぶってね。ご祈祷してもらい、お札を受けてきたんですよ」(和泉 大正10年生)。穴八幡に子どもの肌着を持って行って、拝んでもらった人もあります(和泉 明治38年生)。

「豪徳寺の方だったかどこだったか、子どもの着物を持って行って、尼さんみたいなひとに虫封じしてもらったことがあります」(駒井 昭和3年生)。栗鴨のとげぬき地藏さんへ虫封じに行った人(和泉 明治32年生)、喜多見の不動さんがいいというので長男をおぶって行ったとか(駒井 大正3年生)、川崎の身代り不動さんに行った(猪方 明治37年生)なども。遠方では、神奈川県津久井郡の与瀬の権現(相模原市相模湖町与瀬神社)に行きました。

「与瀬の権現様は、わざわざ行ってお願いしなければ効かないって。ついでに来るならヨセの権現ってね。うちあたりでもやっただけですよ。お札をいただいた、子どもの寝ている頭のとこに貼っておくんです」(岩戸 明治31年生)。与瀬の権現へ虫封じの願解きのお札参りに十か十一のとき、父親につれられて中央線に乗って行った思い出を語ってくれた、明治24年生まれの本橋兼吉さん(和泉)。そして、昭和40年生まれの次男が三つ四つころ与瀬に行ったことを、昭和8年生まれのご夫妻(和泉)からも聞きました。

伊豆美神社の神主さんに虫封じのお札をつくってもらったり、御嶽山からまわってくる御師(神主)に虫封じをしてもらったりする家もありました。虫封じのお札は、子どもの枕もと近くの柱だとか家の真ん中の柱に貼っておき、子どもが夜泣きなどしたときに、お札に打っておいた釘を金槌で叩いたという人もいます。疳の虫には、祈祷・祈願のほか、動植物を用いる民間療法も行われていました。ツワブキまたはユキノシタの葉を塩もみにして、その汁を飲ませる。ホオズキの実から根を出して、しゃぶらせる。赤カエルを焼いて食べさせるなど。

なお、和泉の泉龍寺では、むかし「夢想丸」という小児用の薬も出していて、用法をのしした版本には「小児むしの薬」の文字がのこされています。